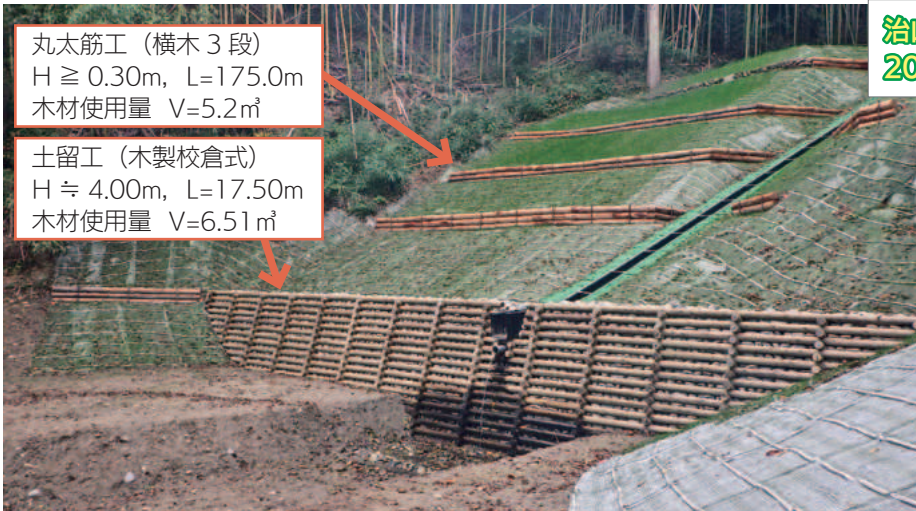


木材利用で林野庁長官賞 受賞 !!



丸太筋工 (横木 3 段)
H ≥ 0.30m, L=175.0m
木材使用量 V=5.2m³

土留工 (木製校倉式)
H ≒ 4.00m, L=17.50m
木材使用量 V=6.51m³

治山事業: SDGs 6, 13, 15
2050 ZERO CARBON: 炭素固定



【木製校倉式土留工施工中】

令和 6 年度木材利用コンクール ((一社) 日本治山治水協会他主催) において、令和 4 年度復旧治山事業第 20 号工事【喬木村伊久間】が、林野庁長官賞を受賞しました。

この工事は、令和 2 年 7 月豪雨時に発生した山腹崩壊箇所を復旧するもので、木材は不安定土砂の安定のため土留工 (木製校倉式)、及び緑化基礎として丸太筋工に利用しました。

山腹の安定を図るとともに、周辺環境や景観を保全しつつ県産材の積極的な活用が評価され、長野県内では、平成 19 年以来の林野庁長官賞 (最高賞) を受賞。

今後も治山事業では、適材適所で木材の利用を推進します。



【山地災害に備えて】

近年ゲリラ豪雨等による大雨や、予測できない地震により、山地災害が起きやすい状況となっております。日ごろから『信州くらしのマップ [防災]』や、市町村におけるハザードマップ等で危険箇所の確認や、大雨、地震時の状況変化を感じ、イザという時の避難方法の確認をお願いします。

長野県 (林務) では、過去に災害が発生した場所等の危険箇所を、山地災害危険地区として指定していますので、あわせて確認を !!

森林土木事業で ICT^{*} を活用した測量設計に取り組んでいます

* Information and Communications Technology (情報通信技術) の略

従来



コンパス測量
(測点を 1 点ずつ距離等を測る)

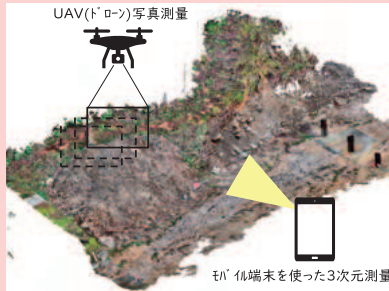


設計図面の作成
施工数量の計算 (手入力)

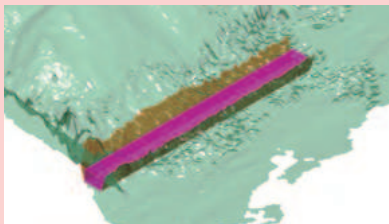
効率化

迅速化

ICT の活用



点群地形データ
(対象範囲の面的な計測が可能)



3 次元での治山構造物の図化
(CAD 上で数量の算出が可能)



現地測量研修
(モバイル端末を使った点群データ取得)



3 次元 CAD 研修